

平成 28 年度化学金属部会活動概況報告

化学・繊維・金属部会長
高田 忠彦



1. はじめに

□当部会は、化学部門（33名）繊維部門（4名）と金属部門（20名）のメンバー57名（会員44名、準B13名）から構成されています。

以下、平成28年度の活動概況を報告します。

2. 平成28年度の活動概況

1) 基本事業

化学・繊維・金属部会は①例会・講演会②見学会③WEB中継講演会を3本柱として、推進してきましたが、本年度からは、講演会を独立に実施し、講演件数を従来の2件→3件に増やすことにしました。これは講演会の更なる充実をめざすものです。すでに、講演会は7月9日に実施し、成功裡に終了しました。また、第1回の幹事会は、5月7日に実施し、幹事会のメンバーと意見交換を行いました。（第2回は11月予定）例会は、平成29年1月21日に開催を予定しています。WEB中継は、具体的な日程が決まっていますが、実施する方向で検討を進めています。他部会との合同見学会は10月7日に実施予定です。

2) 事業推進状況

・平成28年度化学/繊維/金属講演会

41名が参加し、大変盛会でした。以下概要をご紹介します。

①「たたら製鉄の歴史と日本刀」和鋼博物館館長 伊藤正和氏（技術士金属部門）

「日本遺産」として認定された「たたら製鉄」は長い歴史と伝統を継承しながら今日に至っている状況や日本刀製作に欠かせない材料であることを、動画を交えてご説明いただいた。非常に印象的な講演でした。

②「COP21 パリ合意を考える」(合)グ

リーンネッツ代表 栗原 茂氏（技術士化学・環境部門）

ご自身が世界中を回られ、得られた海外の環境事情とCOP21について説明されました。地球環境問題の解決には西洋思想ではなく『東洋思想』による発想の転換が必要というのは、面白い観点であると感じました。



③「レア・アースとレアメタル」寄高技術士事務所代表 寄高 政史氏（金属部門）

レア・アース、レアメタルの現状や自動車の関連のスーパーアロイの開発に関し、レア・アースの添加の果たす役割などわかりやすく解説をして頂きました。

・部会メンバーのキャリア作成

当部会は3部門の技術士から構成されていますが、メンバー同士のキャリアを殆ど知らないとの声があり、書式を決めてメンバーのキャリア表を作成中です。例会で、各メンバーが自己のキャリアを紹介しあうことも検討中です。

3. 今後の進め方

今年度はまだ半ばであり、事業推進も不十分です。メンバーの交流を深めるべく、更なる部会の活発化に向け努力する所存です。